

研修旅行テーマ：

グスク時代に建てられた監守の居城である「今帰仁城」から、沖縄戦の悲惨な歴史を物語る「ひめゆりの塔・アブチラガマ」など沖縄を代表する場所を訪れ、沖縄がどのような歴史を辿ってきたのか、実際に赴き肌で体感する。



【今帰仁城跡】

現地語で城はグスクと呼ばれます。『今帰仁旧城図』という史料の中で城の本門であったと記されている兵郎門を抜け、外敵からの侵攻を守るための石段を登り、沖縄の山と海との自然の絶景を眺めながら歩いていると、今帰仁城の主郭跡へと着きました。そこでは、今帰仁城が機能していた時期にどのような工夫で城を構築していたか、中国との貿易の痕跡、今帰仁城が中山王に支配されてどのように用いられてきたか等を知ることができました。今帰仁城の石垣のように形の違う石を加工せず積み上げる方法を「野面積み」といい、うねるように築かれているのが印象的でした。

その後に出た今帰仁村歴史文化センターでは、今帰仁城跡にて実際に出土した陶器や道具を見ることができ、より理解が深まりました。また、今帰仁に関する資料や映像だけでなく、今帰仁全体のジオラマなどもありました。



【海洋博公園】

今帰仁城跡後にバスで海洋博公園に赴きました。ここは沖縄国際海洋博覧会の跡地にできた国営公園で、広い土地に様々な施設があります。私たちはその中で、美ら海水族館と海洋文化館を訪れました。

海洋文化館の航海ゾーンでは、海を渡り移住のした人類の歴史について、映像とともに展示が行われていました。今もなお継承されるミクロネシアの航海技術と造船技術が、30mにも及ぶ漫画で紹介してあったのが印象的でした。オセアニアゾーンでは、大海原での航海を巡る人々の活動が、床の地図と大型スクリーンで紹介されていました。交流ゾーンでは、「海を結んだ交流」を象徴する大型のカヌーが展示されていました。沖縄ゾーンでは、沖縄の漁労生活の歴史が紹介されていました。伝統漁具が展示され、伝統的な漁業の手法も映像で見ることができました。また、沖縄県内で60年ぶりに復元されたサバニが、製作工程の映像とともに展示されていました。

以上のように、海洋博公園では沖縄以外に太平洋地域の海洋文化についてカヌーの展示や映像とともに学ぶことができました。海との交流が深い沖縄において、海洋文化に関する貴重な史料に多数触れることが出来ました。



【ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館】

ひめゆり学徒隊は、1945年3月末、看護要員として南風原にある沖縄陸軍病院に配属された、沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の生徒222名および引率教師18名のことです。入り口を抜けると正面にある慰霊碑「ひめゆりの塔」は、ひめゆり学徒隊の最後の地である伊原第三外科壕跡の上に建てられています。

ひめゆり平和祈念資料館には、沖縄戦に関する説明や、当事者による記録が展示されていました。国内唯一の地上戦の内容は壮絶なものでした。「鎮魂」という展示では、亡くなった方一人ひとりの顔写真や、ひめゆり学徒隊の生き残った生徒が書き記したエピソードなどが展示されており、戦場で戦っていた人々が、私たちと同じような生活を送っていたことを認識させられました。一緒に生き残ろうと誓った親友がすぐ隣で死ぬなど、死と隣り合わせであった戦場から生き残った生存者の経験談、特に、「生き残ってしまって申し訳ない」という生存者の言葉が、強く印象に残りました。



【糸数アブチラガマ】

ひめゆりの塔を訪れた後、南城市にある糸数アブチラガマを訪れました。現地語で、ガマとは「自然洞窟」のこと、アブとは「深い縦の洞穴」、チラとは、「崖」のことを指します。ここは、もともとは糸数集落の避難指定壕でしたが、日本軍の陣地壕や倉庫として使用されることとなり、戦場が南下するにつれて南風原陸軍病院の分室となりました。全長 270m のガマには、軍医、看護婦、ひめゆり学徒隊が配属され、その内部は 600 人以上の負傷兵で埋め尽くされていました。

実際にガマに入り、現地ガイドの方と一緒に、1 時間ほどのツアーに参加しました。ガマ内は、じめじめとしていて蒸し暑く、入るだけで体が重くなる感覚を味わいました。ツアーでは、軍医室や手術室、日本軍が掘った井戸等を見学しました。また、かつてひめゆり学徒隊さえも立ち入りを禁止されていた 1 番奥の部屋も見学しました。ここには、破傷風や脳傷を負った重症患者が割り当てられ、空気孔もなければ、水分も食事もまともに取れない、過酷な環境であったと聞きました。

ガイドの方がおっしゃった「ただ死を待つだけの部屋」という言葉が印象に残っています。実際にガマを訪れたことで、沖縄戦の悲惨さや戦争体験者の苦しみを体感することができました。

※ アブチラガマ内部は撮影禁止のため写真はありません。糸数アブチラガマのウェブサイトでは、ガマの内部を 360 度のパノラマ写真で見ることができます。